

[タバコ問題情報センター選定]

2010年 タバコ問題10大ニュース

- ① 4月1日、神奈川県「受動喫煙防止条例」施行。松沢成文知事の悲願実る。マスコミも大きく報道。
 - ② 10月1日、主要銘柄のタバコが100円以上値上げとなって400円～430円となった。その結果、禁煙希望者が激増。禁煙補助薬が品不足となって「禁煙外来」の医療機関が困惑した騒動も。
 - ③ 1月20日、「横浜タバコ病訴訟」で、横浜地裁・水野邦夫裁判長は原告の訴えを棄却。ただし「有害性・依存性」を認める判決だった。
 - ④ 2月25日、厚生労働省は公共施設を全面禁煙にすべきと都道府県に通知。また、11月には労働政策審議会が、職場の禁煙化について「労働安全衛生法」の改正案を提言したが“罰則規定”は見送りに。
 - ⑤ 厚生労働省の研究班が、受動喫煙が原因で年間6800人が死亡と発表。次いでWHOも、受動喫煙で年間60万人が死亡していると報告。
 - ⑥ 47都道府県のタクシー協会に加盟しているタクシーが、2011年1月から全面禁煙に。最後の県は和歌山だった。
 - ⑦ 12月9日、アメリカ合衆国の公衆衛生長官は「たった1本のタバコがDNAを傷つける」と発表。タバコの依存性にも言及。タバコ産業との徹底対決の姿勢を打ち出す。
 - ⑧ 豪シドニーで「第9回APACT」開く。アジア太平洋地域から700名参加。次回会長に島尾忠男氏。2013年、幕張メッセで開催決定。
 - ⑨ 井上ひさし、つかこうへい、小林繁、木村拓也、玉置宏、藤田まこと氏ら著名人の「タバコ病死」続く。非喫煙者の梨本勝氏も肺がんで死去したが、受動喫煙が原因の可能性濃厚。
 - ⑩ 5月30日、「世界禁煙デー」、原宿で「スモークフリー・ウォーク」実施。WHOからベッチャー氏、ジュディス・マッカーイ氏も参加し、盛り上がった。
- 次 7月、たばこ問題情報センターが一般社団法人に。「タバコ問題情報センター」として新しいスタートを切った。